

強度行動障がい者の集中支援・地域移行の先進的な取り組み（福岡か～む）の視察

視察日 6月24日、25日、26日

視察スケジュール

- 1日目 10:00～12:00 事業概要説明、館内見学、質疑応答
13:00～15:00 事業概要説明、質疑応答
15:00～16:30 利用者支援：か～む職員とともに利用者支援の実習、見学
16:30～17:00 振り返り、意見交換
- 2日目 13:00～19:00 利用者支援：か～む職員とともに利用者支援の実習、見学
19:00～20:00 振り返り、意見交換
- 3日目 9:30～12:00 GH なごみ（か～むからの受け入れ事業所）見学、座談会
13:00～14:00 一人暮らしをしている強度行動障がいを有する方の住まい見学
15:00～17:00 座学・3日間を通しての振り返り・意見交換

① か～むについて

- ・ 福岡市社会福祉事業団 障がい者地域生活・行動支援センターか～む
- ・ 所在 福岡県福岡市城南区東油山（じょうなんくひがしあぶらやま）
- ・ 語源 「穏やか（calm）」、「おいでよ（come）」

② 主な事業

集中支援事業

移行型グループホーム

地域生活支援拠点事業に基づく、緊急受け入れ事業

強度行動障がい者の受け入れ



か～む視察の様子①

③ 内容

- ・強度行動障害を有する方がか～むを利用中に、移行先や地域と連携を取り、スムーズな地域移行を図る。
- ・多様な事業所等と地域全体として強度行動障害を有する方をどう受け入れ、また、どう関与させていくかについて話し合いを重ねる。
- ・か～むの課題としては、強度行動障害を有する方の移行先、受け入れ先がなかなか見当たらないことがある。移行の滞りは全国的な課題でもある。
- ・札幌では、札幌市自閉症者自立支援センターゆいが、同様に業務をおこなっているが、類似した課題を有する。しかし、相違点として、ゆいが同一法人での意向を進めてきたが、人手不足等の理由により、移行の滞りが出ているのに対し、か～むでは、他法人との連携を取ることで、また、連携を超えたコンサル・OJTを行うことにより、地域の活性化を図ることが可能となっている。

④ か～むの実践と課題から学んだこと

強度行動障害を有する方への札幌の集中支援・地域移行支援として新たなモデルづくり（体制、予算など）に関して、以下の点を課題と認識した。

- ・コンサルタントやOJTを活用したGH、入所、生活介護、居宅介護事業など関係機関のベースアップ
- ・対応できる事業所の増加、支援者の増員（リーダー的支援者の養成）
- ・他事業所と連携し、地域を活性化させ、地域として総合的に強度行動障害を有する方を支える力をあげる。



か～む視察の様子②